

第3班 意見交換会 議事録

会議名	北海道TMRセンター連絡協議会令和5年度春の意見交換会		
日時	令和6年4月8日（月）	場所	第2水産ビル8階 会議室
出席者 (敬称略)	根室：(有)中標津ファームサービス、十勝：(株)更別TMRセンター、根室：(株)望洋アグリワークス、 オホーツク：(有)アグリサポートばろう、宗谷：(株)イーストデリバリー、事務局		

意見交換会で話し合った話題（TMRセンターの抱える問題に関して等）

項番	発言者	内容
1	(有)アグリサポートばろう	集配車：集配車運転手の減少。集配が止まる日が増える →質を落とさないための工夫が必要となる。
2	(有)中標津ファームサービス	運転手：運転手の高齢化。若い人材が必要だが希望に合ういい人が少ない、育たない。
3	(有)アグリサポートばろう	24年問題：センターの取り組み→コントラに任せてる・人を増やしている・定期便で対応している。
4	(有)中標津ファームサービス	ダンプの単価が1000円/時くらい上がってきている。
5	(有)アグリサポートばろう	育成：若い人への説明の仕方、物の教え方が変わってきている。育成方法が難しくなっている。
6	(株)更別TMRセンター	雇用：給料増額、休日増加していけないと働き手がこない。
7	(有)アグリサポートばろう	輸入：戦争などで、輸入飼料などがより安全なルートを通るようになり輸入コストが上がっている。
8	(有)中標津ファームサービス	特区：ミキサーの小型特殊や条件について、北海道特区を検討してほしい。
9	(株)イーストデリバリー	離農地1：遠方の移動効率がよくない小規模な離農地や、傾斜地の取得は慎重な検討が必要。
	(株)望洋アグリワークス	離農地2：糞尿処理に使ってもいいのではと考えているが赤字になる可能性があると思われる。
10	(有)アグリサポートばろう	離農者1：構成員が離農、離脱した場合の対応について舵取りが難しい。
	(株)更別TMRセンター	離農者2：これ以上離農者が増えると、離農地の対応は厳しい。
	(有)中標津ファームサービス	離農者3：残っている農家を大事に考えなくてはならないので、不便な土地は受けられない場合もある。